２　農業に係る各種対策等の推移

区分		単位	戸別所得補償モデル対策 平成22年度
支払面積			
米（10a控除前）	(1)	ha	1) 1,127,040
麦	(2)	〃	166,300
大豆	(3)	〃	112,003
飼料作物（ＷＣＳ用稲除く）	(4)	〃	95,670
米粉用米	(5)	〃	4,920
飼料用米	(6)	〃	14,773
ＷＣＳ用稲	(7)	〃	15,878
そば	(8)	〃	31,346
なたね	(9)	〃	759
加工用米	(10)	〃	38,374
その他	(11)	〃	129,404
予算額（当初）	(12)	億円	2) 5,538
支払金額	(13)	億円	2) 4,958
支払面積及び支払金額は平成23年5月13日公表値。			
交付金等の単価	(14)		1　米戸別所得補償モデル事業 区分：定額部分／単価（10a当たり）：15,000円（標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成） 区分：変動区分※／単価（10a当たり）：15,100円（実績）（米価変動に対応した助成） ※　当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。 2　水田利活用自給力向上事業 麦、大豆、飼料作物：35,000円 ※1 米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、ＷＣＳ用稲：80,000円 そば、なたね、加工用米：20,000円 ※1 その他作物（都道府県単位で単価設定）：10,000円 ※2 二毛作助成（主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ）：15,000円 ※1　農業者への実際の交付単価は地域での調整により変更となった地域がある。 ※2　標準単価10,000円／10a。都道府県単位で対象作物・単価を設定。

資料：農林水産省政策統括官資料による。
注：　1)については、米戸別所得補償モデル事業の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家飯米・縁故米用に供される分として申請1件あたり一律10aを控除して算定される。
　　2)については、米戸別所得補償モデル事業及び水田利活用自給力向上事業を合算したもの。

区分		単位	農業者戸別所得補償制度	
			平成23年度	平成24年度
支払面積			（米、水田活用の所得補償交付金）	（米、水田活用の所得補償交付金）
米（10a控除前）	(1)	ha	1）1,128,201	1）1,134,131
麦	(2)	〃	169,665	165,955
大豆	(3)	〃	111,069	105,338
飼料作物（WCS用稲除く）	(4)	〃	100,881	102,239
米粉用米	(5)	〃	7,263	6,372
飼料用米	(6)	〃	33,758	34,316
WCS用稲	(7)	〃	22,856	25,410
そば	(8)	〃	35,260	37,150
なたね	(9)	〃	643	535
加工用米	(10)	〃	27,494	32,448
支払数量			（畑作物の所得補償交付金）	（畑作物の所得補償交付金）
小麦	(11)	t	700,727	824,741
二条大麦	(12)	〃	55,757	44,352
六条大麦	(13)	〃	30,504	38,901
はだか麦	(14)	〃	12,141	11,187
大豆	(15)	〃	181,391	198,387
てん菜	(16)	〃	3,538,422	3,649,972
でん粉原料用ばれいしょ	(17)	〃	727,435	772,607
そば	(18)	〃	27,654	39,984
なたね	(19)	〃	1,628	1,637
予算額（当初）	(20)	億円	2）6,496	2）6,496
支払金額	(21)	億円	2）5,366	2）5,603

※支払面積、支払数量及び支払金額は各年６月28日公表値。

交付金等の単価 (22)

1　米の所得補償交付金及び米価変動補塡交付金

区分	単価（10ａ当たり）
米の所得補償交付金	15,000円 （標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成）
米価変動補償交付金※	０円（平成23年産及び24年産実績） （米価変動に対応した助成）

※　当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。

2　水田活用の所得補償交付金

作物	単価（10ａ当たり）
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、WCS用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（わら利用、水田放牧、資源循環）に対する助成）	13,000円
産地資金（地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

注：WCSとはホールクロップサイレージの略である。

3　畑作物の所得補償交付金

【数量払】

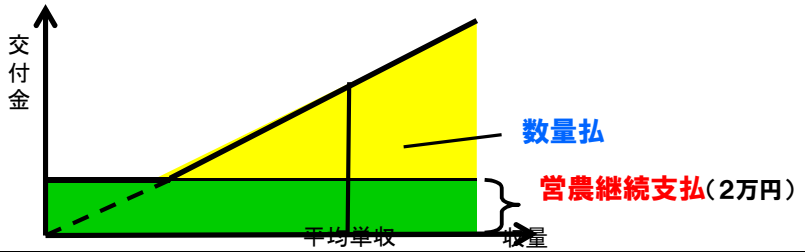
対象作物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	6,410円/ﾄﾝ
でん粉原料用ばれいしょ	11,600円/ﾄﾝ
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

※　小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。

【面積払（営農継続支払）】※前年産の生産面積に基づき交付（２万円/10ａ）。

〈畑作物の所得補償交付金のイメージ〉



資料：農林水産省政策統括官資料による。
注：　1)については、農業者戸別所得補償制度の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請１件あたり一律10ａを控除して算定したもの。
　　2)については、米の所得補償交付金、水田活用の所得補償交付金、畑作物の所得補償交付金及び加算措置を合算したもの。

２　農業に係る各種対策等の推移（続き）

区分		単位	経営所得安定対策等 平成25年度
支払面積			（米、水田活用の直接支払交付金）
米（10ａ控除前）	(1)	ha	1) 1,135,609
麦	(2)	〃	165,295
大豆	(3)	〃	103,327
飼料作物（ＷＣＳ用稲除く）	(4)	〃	102,514
米粉用米	(5)	〃	3,915
飼料用米	(6)	〃	21,754
ＷＣＳ用稲	(7)	〃	26,353
そば	(8)	〃	37,130
なたね	(9)	〃	582
加工用米	(10)	〃	37,341
支払数量			（畑作物の直接支払交付金）
小麦	(11)	t	779,589
二条大麦	(12)	〃	46,893
六条大麦	(13)	〃	45,862
はだか麦	(14)	〃	13,808
大豆	(15)	〃	167,894
てん菜	(16)	〃	3,434,734
でん粉原料用ばれいしょ	(17)	〃	762,795
そば	(18)	〃	30,218
なたね	(19)	〃	1,497
			（収入減少影響緩和交付金）
加入件数	(20)	件	2) 69,774
補填件数	(21)	〃	2) 1,234
予算額（当初）	(22)	億円	3) 6,273
支払金額	(23)	億円	3) 5,398

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成26年６月27日公表値に基づく。加入件数、補填件数及び支払金額（収入減少影響緩和交付金）は平成25年９月20日公表値に基づく。

交付金等の単価 (22)

１　米の直接支払交付金及び米価変動補填交付金

区分	単価（10ａ当たり）
米の直接支払交付金	15,000円 （標準的な生産に要する費用と標準的な販売価格の差額相当分の助成）
米価変動補填交付金※	0円（平成25年産実績） （米価変動に対応した助成）

※　当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合、その差額を基に交付単価を算定。

２　水田活用の直接支払交付金

作物	単価（10ａ当たり）
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、ＷＣＳ用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（わら利用、水田放牧、資源循環）に対する助成）	13,000円
産地資金（地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

３　畑作物の直接支払交付金

【数量払】

対象作物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg

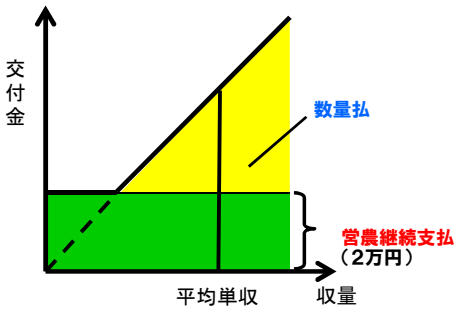
対象作物	平均交付単価
てん菜	6,410円/ﾄﾝ
でん粉原料用ばれいしょ	11,600円/ﾄﾝ
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

※　小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kg を加算。

【面積払（営農継続支払）】

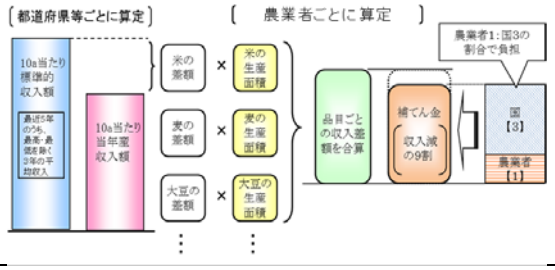
※前年産の生産面積に基づき交付（2万円/10a）。

〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉



４　収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の９割を、対策加入者と国が１対３の割合で拠出した積立金から補填。



資料：農林水産省政策統括官資料による。
注：　1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請１件あたり一律10ａを控除して算定される。
　　2)については、平成24年産における件数。
　　3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金、収入減少影響緩和交付金及び再生利用交付金を合算したもの。

区分		単位	経営所得安定対策等 平成26年度
支払面積			（米、水田活用の直接支払交付金）
米（10a控除前）	(1)	ha	1) 1,089,278
麦	(2)	〃	167,451
大豆	(3)	〃	105,690
飼料作物（WCS用稲除く）	(4)	〃	101,736
WCS用稲	(5)	〃	30,669
米粉用米	(6)	〃	3,372
飼料用米	(7)	〃	33,885
加工用米	(8)	〃	48,051
そば	(9)	〃	34,735
なたね	(10)	〃	497
支払数量			（畑作物の直接支払交付金）
小麦	(11)	t	820,483
二条大麦	(12)	〃	49,189
六条大麦	(13)	〃	41,275
はだか麦	(14)	〃	13,806
大豆	(15)	〃	200,634
てん菜	(16)	〃	3,566,452
でん粉原料用ばれいしょ	(17)	〃	788,266
そば	(18)	〃	27,477
なたね	(19)	〃	1,599
			（収入減少影響緩和交付金）
加入件数	(20)	件	2) 67,073
補塡件数	(21)	〃	2) 31,876
予算額（当初）	(22)	億円	3) 6,428
支払金額	(23)	億円	3) 5,147

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成27年６月26日公表値に基づく。加入件数、補塡件数及び支払金額（収入減少影響緩和交付金）は平成26年９月26日公表値に基づく。

交付金等の単価 (22)

1　米の直接支払交付金

交付単価（10ａ当たり）
7,500円 （10a当たりの単価（全国一律）で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定）

2　水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価（10ａ当たり）
麦、大豆、飼料作物	35,000円
WCS用稲	80,000円
加工用米	20,000円
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、55,000円～105,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（飼料用米のわら利用、水田放牧、資源循環）を支援）	13,000円
産地交付金（地域が策定する「水田フル活用ビジョン」に基づく、①水田における麦、大豆等の生産性向上等の取組、②地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

3　畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

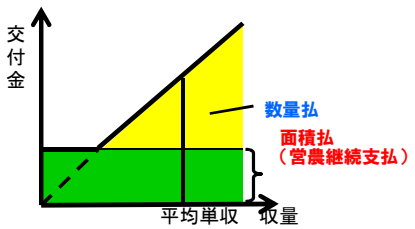
対象作物	平均交付単価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/50kg
六条大麦	5,490円/50kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/ﾄﾝ
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/ﾄﾝ
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：１　小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。
　　２　てん菜の基準糖度は、16.3度。
　　３　でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

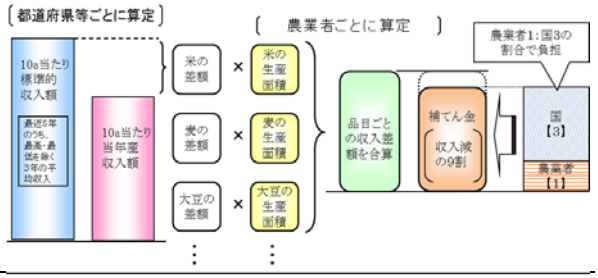
【面積払（営農継続支払）】
※前年産の生産面積に基づき交付
（２万円/10ａ）
（そばについては1.3万円/10a）

〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉



4　収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の９割を、対策加入者と国が１対３の割合で拠出した積立金から補塡。



資料：農林水産省政策統括官資料による。
注：　1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請１件あたり一律10ａを控除して算定される。
　　2)については、平成25年産における件数。
　　3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金、収入減少影響緩和交付金及び再生利用交付金を合算したもの。

２　農業に係る各種対策等の推移（続き）

区分		単位	経営所得安定対策等 平成27年度
支払面積			（米、水田活用の直接支払交付金）
米（10ａ控除前）	(1)	ha	1)1,039,251
麦	(2)	〃	170,590
大豆	(3)	〃	113,016
飼料作物（ＷＣＳ用稲除く）	(4)	〃	103,234
ＷＣＳ用稲	(5)	〃	37,860
米粉用米	(6)	〃	4,206
飼料用米	(7)	〃	79,467
加工用米	(8)	〃	46,157
そば	(9)	〃	34,125
なたね	(10)	〃	585
支払数量			（畑作物の直接支払交付金）
小麦	(11)	t	968,333
二条大麦	(12)	〃	46,776
六条大麦	(13)	〃	45,772
はだか麦	(14)	〃	10,554
大豆	(15)	〃	212,612
てん菜	(16)	〃	3,709,206
でん粉原料用ばれいしょ	(17)	〃	779,815
そば	(18)	〃	28,649
なたね	(19)	〃	2,942
			（収入減少影響緩和交付金）
加入件数	(20)	件	2) 69,741
補塡件数	(21)	〃	2) 58,375
予算額（当初）	(22)	億円	3) 6,404
支払金額	(23)	億円	3)6,263

※支払面積、支払数量及び支払金額（収入減少影響緩和交付金を除く）は平成28年７月19日公表値に基づく。加入件数、補塡件数及び支払金額（収入減少影響緩和交付金）は平成27年10月２日公表値に基づく。

交付金等の単価 (22)

1　米の直接支払交付金

交付単価（10ａ当たり）
7,500円 （10a当たりの単価（全国一律）で直接交付。交付対象面積は、主食用米の作付面積から一律10a控除して算定）

2　水田活用の直接支払交付金

対象作物等	単価（10ａ当たり）
麦、大豆、飼料作物	35,000円
米粉用米、飼料用米、ＷＣＳ用稲	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物助成の対象作物、又は戦略作物助成の対象作物同士の組み合わせ）	15,000円
耕畜連携助成（耕畜連携の取組（わら利用、水田放牧、資源循環）に対する助成）	13,000円
産地資金（地域の実情に即して、戦略作物助成の対象作物の生産性向上、地域振興作物や備蓄米の生産の取組等を支援）	※都道府県又は地域農業再生協議会毎に助成内容を設定。

3　畑作物の直接支払交付金

【数量払】※交付単価は品質に応じて増減。

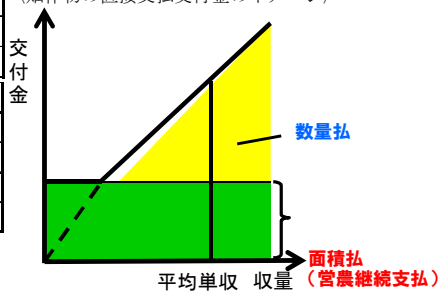
対象作物	平均交付単価
小麦	6,320円/60kg
二条大麦	5,130円/50kg
六条大麦	5,490円/50kg
はだか麦	7,380円/60kg
大豆	11,660円/60kg

対象作物	平均交付単価
てん菜	7,260円/ﾄﾝ
でん粉原料用ばれいしょ	12,840円/ﾄﾝ
そば	13,030円/45kg
なたね	9,640円/60kg

注：１　小麦については、パン・中華麺用品種を作付けた場合は、数量払に2,550円/60kgを加算。
　　２　てん菜の基準糖度は、16.3度。
　　３　でん粉原料用ばれいしょの基準でん粉含有率は、19.5%。

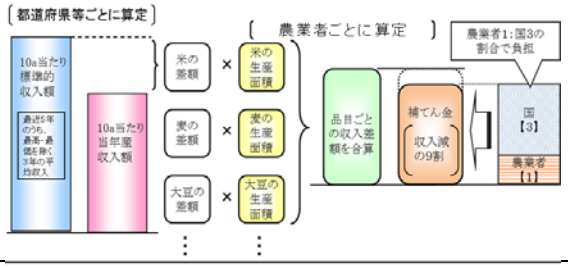
【面積払（営農継続支払）】
※前年産の生産面積に基づき交付
（２万円/10ａ）（そばについては1.3万円/10a）

〈畑作物の直接支払交付金のイメージ〉



4　収入減少影響緩和交付金

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの当年産収入額の合計が、過去の平均収入である標準的収入額を下回った場合に、その差額の９割を、対策加入者と国が１対３の割合で拠出した積立金から補塡。



資料：農林水産省政策統括官資料による。
注：　1)については、経営所得安定対策の交付対象面積は、主食用米の作付面積から自家消費等分として申請１件あたり一律10ａを控除して算定される。
　　2)については、平成26年産における件数。
　　3)については、米の直接支払交付金、水田活用の直接支払交付金、畑作物の直接支払交付金、収入減少影響緩和交付金及び再生利用交付金を合算したもの。